

## UC/UCEAP 大阪オフィス



海外交流

岡村 康行\*

University of California(UC)/University of California Education Abroad Program(UCEAP) Osaka Office

Key Words : UC, UCEAP, Osaka Office, International exchange

海外の主要大学の拠点を大阪大学のキャンパス内に設置するという構想は以前からあったが、大阪大学が掲げる Global University 「世界適塾」を実現するための一環として、2014年12月、豊中キャンパス文理融合型研究棟に UC/UCEAP Osaka Office を設置し、Jean-Xavier Guinard UCEAP 本部代表、松本英登文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室長、Keith Lommel 駐大阪・神戸米国総領事館関西アメリカンセンター館長をお迎えして開所式を行った。UCEAP が海外に設置するオフィスとしては、国際基督教大学における UC 東京スタディセンター

に次いで日本で2番目のオフィスとなる。

大阪大学とカリフォルニア大学<sup>1</sup>との公式な交流は、1982年に文学部と Department of History of Art, UC Berkeley が、部局間学術交流協定を締結したことに始まる。それ以来、経済学部、工学部など幾つかの部局で部局間学術交流協定が締結され、研究者交流、学生交流の実績を積み重ね、2002年1月には大学間学術交流協定の締結、2008年2月には、University of California Education Abroad Program<sup>2</sup>との協定へと発展した。その間、理工系学生を対象とする交換留学受入プログラム FrontierLab@OsakaU<sup>3</sup>



開所式での記念写真



\* Yasuyuki OKAMURA

1950年9月生  
現在、大阪大学 理事・副学長  
工学博士 光エレクトロニクス  
TEL : 06-6879-4063  
FAX : 06-6879-4068  
E-mail : okamura@ee.es.osaka-u.ac.jp

によって、本学のキャンパスで学ぶカリフォルニア大学の学生も増え、その結果、派遣と受入れの両方も毎年10人以上の学生が太平洋を越えた交流を行っている<sup>4</sup>。さらに、この交換留学とは別に、大阪大学では「J-ShIP (Japanese Short-stay In-session Program)」と呼ばれる短期日本語研修の受入れプログラムを開発して、夏休み期間中に各キャンパスから年間45人程度のカリフォルニア大学生を受け

入れるようにもなった<sup>5</sup>。2015年度には夏休み期間中の研究中心短期プログラム FrontierLab@OsakaU Summer Program も創設し、カリフォルニア大学からの学生を対象とする短期受入プログラムの一層の充実を図ることを考えている。このように、カリ

フォルニア大学は本学にとって最も具体的な学生交流が盛んな協定校であり、本学学生の国際性涵養とキャンパスのグローバル化に寄与していただいている重要なパートナーである。



UC/UCEAP 大阪オフィスが入居する  
豊中キャンパス文理融合型研究棟



UC/UCEAP 大阪オフィスの入口



UC/UCEAP 大阪オフィスの内部

- 1 カリフォルニア大学 (UC)  
1868年創立。バークレイ校を旗艦校にアーバイン校▽マーセド校▽サンディエゴ校▽サンタバーバラ校▽デービス校▽ロサンゼルス校▽リバーサイド校▽サンフランシスコ校▽サンタクルーズ校の10校で構成。学生総数19万1000人。Times Higher Educationの世界大学ランキング(2014-2015)でバークレイ校が総合8位、ロサンゼルス校は総合12位と世界トップレベルにある。過去に70人以上のノーベル賞受賞者を輩出している。
- 2 カリフォルニア大学海外教育プログラム (UCEAP)  
1962年設立。トップクラスの教育、ビジネス範例、全学生の留学に重点を置くカリフォルニア大学全体の国際交流プログラム。UCEAPはカリフォルニア大学の10キャンパスすべてをカバーし、42カ国において、380を超えるプログラムによる学習指導や交流関係を通じて、カリフォルニア大学の使命を支えている。
- 3 FrontierLab@OsakaU (理系学生を対象とした研究指導型短期留学プログラム)を基に、UC学生用のFrontierLab@OsakaU Summer Programを現在企画中である。  
[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/inbound/exchange\\_program/frontierlab/frontierlabguide](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/inbound/exchange_program/frontierlab/frontierlabguide)  
[http://eap.ucop.edu/OurPrograms/japan/Pages/lab\\_research\\_engineering\\_science.aspx](http://eap.ucop.edu/OurPrograms/japan/Pages/lab_research_engineering_science.aspx)
- 4 受入・派遣の交流実績において、カリフォルニア大学は最大の交流協定校である。
- 5 これら以外に、各研究科等主催のプログラム等で毎年30人程度を短期研修やインターンシップで派遣している。

UC/UCEAP Osaka Office では様々な活動を行っているが、以下に主な活動内容を紹介する。

- ・大阪大学と UC との相互の学生交流の推進
- ・大阪大学既存の学生交流プログラム（交換留学（派遣）、交換留学（受入れ：FrontierLab@OsakaU, MAPLE）、超短期J-ShIP など）の拡大
- ・主に UC 学生を対象とするサマースクール・サマープログラムの企画、実施
- ・大阪大学へ受け入れた UC 学生の修学及び生活支援
- ・UC への留学希望者（本学学生）へのアドバイス
- ・UC 教員による大阪大学学生への英語授業（集中講義、特別講義を含む）の提供
- ・UC 教員の専門研究分野に関する、大阪大学教

員との共同研究、意見交換、情報収集

- ・ UC との国際シンポジウム、ワークショップなどの企画、実施
- ・ UC の西日本協定大学との学生交流推進

UC/UCEAP Osaka Office の Director は、上記 UC 東京スタディセンター長が兼務することとなっているが、オフィスの活動を遂行、支援するために、クロスアポイントメント制度を利用して、UC10 校の Faculty から特任教員（常勤）を定期的に招へいする計画で、本年度は 2 名の特任教員（常勤）を雇用する予定である。

今後、世界有数の教育研究機関であるカリフォルニア大学との連携が緊密になり、交流がより一層活発となることが期待される。

